

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月27日

上場会社名 さくらインターネット株式会社
 コード番号 3778 URL <http://www.sakura.ad.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 川田 正貴
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 06-6265-4830

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,872	6.7	110	27.2	101	32.9	90	△20.7
21年3月期第1四半期	1,755	—	86	—	76	—	114	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2,015.53	—
21年3月期第1四半期	2,541.58	2,536.37

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	4,805	1,359	27.0	28,872.84
21年3月期	4,791	1,313	26.2	27,857.31

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,299百万円 21年3月期 1,253百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	600.00	600.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,700	5.4	150	△24.6	130	△26.9	135	△25.9	3,000.13
通期	7,700	8.3	400	1.9	380	8.8	320	△14.5	7,111.43

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(1)をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	44,998株	21年3月期	44,998株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	0株	21年3月期	0株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	44,998株	21年3月期第1四半期	44,988株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成21年4月27日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては、平成21年7月27日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(2)上記に記載した内容は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要因を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

(1) 平成22年3月期 第1四半期累計期間の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、一部に持ち直しの動きがみられておりますが、依然として厳しい状況が続いております。

I T市場においても、企業投資が後退し、マイナス成長となる見通しです。一方、当社が所属するインターネットデータセンター市場においては、I Tアウトソーシング需要の高まりなどにより、市場全体として成長を続けております。しかしながら、競合企業による大型データセンターの新設やフロア増床などにより、競争環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況の中、当社は高品質かつコストパフォーマンスに優れたサービスの提供により、他社との差別化を図ってまいりました。その結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,872,479千円(前年同期比6.7%増)となりました。

営業利益につきましては、売上高が増加したことに加え、経費の抑制に努めたほか、新サービスの投入や組織改編などの実施時期の見直しに伴い、当初織り込んでいた経費支出の一部が第2四半期以降に繰り越されたことから、110,361千円(前年同期比27.2%増)となりました。

経常利益につきましては、営業利益の大幅な増加に加え、支払利息の減少により、101,087千円(前年同期比32.9%増)となりました。

四半期純利益につきましては、繰延税金資産の回収可能性を再検討した結果、法人税等調整額△5,339千円を計上したことなどにより、90,694千円(前年同期比20.7%減)となりました。

(2) サービス別の概況

①ハウジングサービス

競合企業によるデータセンターの新設・増床などにより、厳しい競争環境にありますが、営業活動に注力した結果、ハウジングサービスの売上高は723,818千円(前年同期比6.4%増)となりました。

②専用サーバサービス

堅調なホスティング需要を背景に、サービスプランのブラッシュアップに継続して取り組んだ結果、専用サーバサービスの売上高は599,602千円(前年同期比15.9%増)となりました。

③レンタルサーバサービス

前事業年度に実施した法人向け新プランの投入や既存プランの機能強化が奏効し、レンタルサーバサービスの売上高は274,354千円(前年同期比25.7%増)となりました。

④その他サービス

ドメイン取得代行手数料の売上増などがあったものの、前年に大型特需の発生した機材販売・レンタル分野では常態の受注状況のため、その他サービスの売上高は274,704千円(前年同期比19.1%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債及び純資産の状況

①資産

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ13,973千円増加し、4,805,563千円（前事業年度末比0.3%増）となりました。主な要因は、売掛金の減少96,467千円、減価償却によるソフトウェアの減少26,014千円などがあったものの、現金及び預金の増加100,824千円、工具、器具及び備品の増加31,706千円などによるものです。

②負債

当第1四半期会計期間末の負債の合計は、前事業年度末に比べ31,723千円減少し、3,446,273千円（前事業年度末比0.9%減）となりました。主な要因は、前受金の増加90,665千円などがあったものの、リース債務（長期）の減少45,378千円、長期借入金の減少71,829千円などによるものです。

③純資産

当第1四半期会計期間末の純資産の合計は、前事業年度末に比べ利益剰余金が45,696千円増加し、1,359,289千円（前事業年度末比3.5%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物は期首残高から100,824千円増加し、当第1四半期累計期間末残高は923,572千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次の通りです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、485,324千円となりました。主な要因は、賞与引当金の減少額44,910千円、その他流動資産の増加額13,339千円などがあったものの、税引前四半期純利益94,462千円、減価償却費186,703千円、売上債権の減少額96,467千円、前受金の増加額90,665千円、その他流動負債の増加額33,332千円などがあったことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期累計期間において投資活動の結果支払われた資金は、222,180千円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出211,888千円および無形固定資産の取得による支出7,667千円などによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期累計期間において財務活動の結果支払われた資金は、162,449千円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出75,999千円、リース債務の返済による支出61,222千円、配当金の支払額25,228千円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年4月27日に公表いたしました業績予想のうち、第2四半期累計期間の業績予想については、新サービスの投入や組織改編などの実施時期の見直しに伴い、販売費及び一般管理費の一部が第2四半期以降に発生することとなったため、第2四半期累計期間の営業利益、経常利益、当期純利益について、上方修正しております。詳しくは平成21年7月27日付の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期業績予想につきましては、経費の年間総額が当初予算見積りの通りとなることを見込んでいることから、前回予想から変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	923,572	822,747
売掛金	247,718	344,185
貯蔵品	107,224	122,328
前払費用	77,694	70,666
その他	186,845	176,203
貸倒引当金	△12,979	△23,064
流動資産合計	1,530,074	1,513,067
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,179,630	1,194,082
工具、器具及び備品(純額)	1,265,695	1,233,989
その他(純額)	25,160	20,937
有形固定資産合計	2,470,485	2,449,009
無形固定資産		
ソフトウェア	321,386	347,401
ソフトウェア仮勘定	6,509	—
その他	3,834	3,959
無形固定資産合計	331,730	351,360
投資その他の資産		
投資有価証券	26,929	26,929
関係会社株式	0	0
長期前払費用	69,100	76,606
敷金及び保証金	368,438	365,813
その他	8,803	8,803
投資その他の資産合計	473,272	478,153
固定資産合計	3,275,488	3,278,522
資産合計	4,805,563	4,791,589
負債の部		
流動負債		
買掛金	173,331	164,319
1年内返済予定の長期借入金	299,786	303,956
未払金	411,490	391,063
未払法人税等	11,995	7,302
前受金	1,239,440	1,148,774
賞与引当金	51,734	96,644
その他	375,798	364,868
流動負債合計	2,563,576	2,476,929

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	266,918	338,747
リース債務	615,779	661,157
その他	—	1,162
固定負債合計	882,697	1,001,067
負債合計	3,446,273	3,477,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	895,308	895,308
資本剰余金	250	250
利益剰余金	403,661	357,965
株主資本合計	1,299,220	1,253,523
新株予約権	60,069	60,069
純資産合計	1,359,289	1,313,592
負債純資産合計	4,805,563	4,791,589

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,755,379	1,872,479
売上原価	1,301,372	1,389,429
売上総利益	454,007	483,050
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	73,508	81,775
賞与引当金繰入額	17,887	19,759
貸倒引当金繰入額	15,906	—
その他	259,940	271,153
販売費及び一般管理費合計	367,243	372,689
営業利益	86,764	110,361
営業外収益		
受取利息	579	228
受取保証料	147	—
為替差益	1,992	151
その他	—	420
営業外収益合計	2,719	800
営業外費用		
支払利息	13,426	10,020
その他	—	53
営業外費用合計	13,426	10,073
経常利益	76,057	101,087
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	10,084
特別利益合計	—	10,084
特別損失		
関係会社株式評価損	1,960	—
減損損失	24,590	16,710
特別損失合計	26,550	16,710
税引前四半期純利益	49,506	94,462
法人税、住民税及び事業税	4,769	9,106
法人税等調整額	△69,603	△5,339
法人税等合計	△64,834	3,767
四半期純利益	114,340	90,694

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	49,506	94,462
減価償却費	146,262	186,703
減損損失	24,590	16,710
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,906	△10,084
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,397	△44,910
受取利息及び受取配当金	△579	△228
支払利息	13,426	10,020
関係会社株式評価損	1,960	—
株式報酬費用	6,910	—
為替差損益(△は益)	△744	△130
未払消費税等の増減額(△は減少)	△72,016	13,819
売上債権の増減額(△は増加)	△65,731	96,467
前受金の増減額(△は減少)	62,207	90,665
たな卸資産の増減額(△は増加)	20,905	15,103
仕入債務の増減額(△は減少)	35,753	9,011
その他の流動資産の増減額(△は増加)	23,420	△13,339
その他の流動負債の増減額(△は減少)	49,027	33,332
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△1,126	1,868
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△6,785	△1,162
小計	266,497	498,308
利息及び配当金の受取額	—	151
利息の支払額	△13,156	△9,930
法人税等の支払額	△134,982	△3,205
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,358	485,324
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△143,934	△211,888
無形固定資産の取得による支出	△120	△7,667
敷金及び保証金の差入による支出	△19,699	△6,964
敷金及び保証金の回収による収入	—	4,338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163,753	△222,180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△160,000	—
長期借入金の返済による支出	△75,999	△75,999
リース債務の返済による支出	△52,637	△61,222
配当金の支払額	△4	△25,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288,640	△162,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	744	130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△333,290	100,824
現金及び現金同等物の期首残高	1,325,513	822,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	992,222	923,572

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。